

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成29年2月16日(2017.2.16)

【公表番号】特表2013-521055(P2013-521055A)
 【公表日】平成25年6月10日(2013.6.10)
 【年通号数】公開・登録公報2013-029
 【出願番号】特願2012-556150(P2012-556150)
 【国際特許分類】

A 6 2 B 18/02 (2006.01)

【F I】

A 6 2 B 18/02 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年1月11日(2017.1.11)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細長い形状と、中央部分と、それぞれ対向して前記中央部分の側面に位置する第 1 及び第 2 の側方端部分と、前記第 1 の側方端部分に第 1 の開口部と、前記第 2 の側方端部分に第 2 の開口部と、を有する弾性不織布シートと、

前記弾性不織布シートの前記中央部分に固着されるフィルタリングウェブ部分であって、前記中央部分が少なくとも一方向において前記第 1 及び第 2 の側方端部分よりも伸びが小さくなるように、前記中央部分に固着される、フィルタリングウェブ部分と、を備え、

前記フィルタリングウェブ部分が、前記弾性不織布シートには存在しない少なくとも 1 つの平坦なプリーツを有し、

前記弾性不織布シートが、該弾性不織布シートの前記中央部分にかつ前記少なくとも 1 つの平坦なプリーツに対応する位置に少なくとも 1 つの切り込みを有し、該少なくとも 1 つの切り込みが前記少なくとも 1 つのプリーツの方向に沿って延びる、
 フェイスマスク。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のフェイスマスクを含む複数のフェイスマスクを封入する容器を備え、前記容器が、前記複数のフェイスマスクを取り出すための開口を有する少なくとも 1 つの側面を有する、ディスペンサー。

【請求項 3】

機械方向に連続して位置付けられる複数のフェイスマスクを含む連続積層ウェブであって、前記連続積層ウェブは、第 1 の長手方向縁部及び第 2 の長手方向縁部を有し、前記フェイスマスクのそれぞれが、弾性不織布ウェブの部分と、フィルタリングウェブの部分と、を備え、前記弾性不織布ウェブの前記部分が、細長い形状と、中央部分と、それぞれが対向して前記中央部分の側面に位置する第 1 及び第 2 の側方端部分と、を有し、前記側方端部分が、前記連続積層ウェブの前記第 1 の長手方向縁部に延在し、前記第 2 の側方端部分が、前記連続積層ウェブの前記第 2 の長手方向縁部に延在し、前記フィルタリングウェブの前記部分が前記中央部分に固着され、かつ、前記弾性不織布ウェブの前記部分には存在しない少なくとも 1 つの平坦なプリーツを有し、前記弾性不織布ウェブおよび前記フィルタリングウェブの双方が前記機械方向において連続し、

前記弾性不織布ウェブの前記部分がさらに、前記中央部分にかつ前記少なくとも1つの平坦なプリーツに対応する位置に少なくとも1つの切り込みを有し、該少なくとも1つの切り込みが前記機械方向に沿って延びる、
連続積層ウェブ。

【請求項4】

弾性材料の一体型の層と、前記弾性材料の一体型の層には存在しない少なくとも1つの平坦なプリーツを有する、平坦プリーツ加工された材料である少なくとも1つの部分層と、を備える、平坦な伸縮性フェイスマスクであって、前記平坦な伸縮性フェイスマスクを伸張すると、前記弾性材料が伸張し、前記少なくとも1つの平坦なプリーツが少なくとも部分的に開いて、前記少なくとも1つの部分層を拡張し、

前記弾性材料の一体型の層にかつ前記少なくとも1つの平坦なプリーツに対応する位置に少なくとも1つの切り込みが形成され、各切り込みが、対応する前記平坦なプリーツに沿って延びる、
平坦な伸縮性フェイスマスク。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

別の態様では、本開示は、

細長い形状と、中央部分と、それぞれ対向して中央部分の側面に位置する第1及び第2の側方端部分と、第1の側方端部分に第1の開口部と、第2の側方端部分に第2の開口部と、を有する弾性不織布シートと、

弾性不織布シートの中央部分に固着されるフィルタリングウェブ部分であって、中央部分が第1及び第2の側方端部分よりも伸びが小さくなるように、中央部分に固着される、フィルタリングウェブ部分とを備える、フェイスマスクを提供する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

本開示に従う及び／又は本開示に従い作製されたフェイスマスクのいくつかの実施形態では、フィルタリングウェブ部分は、弾性不織布部分又はシートの中央部分が少なくとも一方向において第1及び第2の側方端部分よりも伸びが小さくなるように、中央部分に固着される。これらの実施形態では、フィルタリングウェブ部分は非弾性であるか、又は弾性不織布部分若しくはシートより低い伸長を有する。これらの実施形態のいくつかでは、伸長した弾性不織布部分又はシートの中央部分は、長手L方向又は横断T方向のうちの少なくとも1つにおいて、15（いくつかの実施形態では、14、13、12、11、又は10まで）%未満の伸長を有する。これらの実施形態の他のものでは、伸長した弾性不織布部分又はシートの中央部分の少なくとも一部は、少なくとも70（いくつかの実施形態では、少なくとも75、80、又は85）%、及び横断T方向において、約160、150、125、110、又は100%までの伸長を有する。長手方向Lは機械方向に相当し、横断方向Tは横ウェブ方向に相当する。いくつかの実施形態では、中央部分の異なる部分は、同じ方向において異なる伸長を有することができる。例えば、伸長した不織布シートの中央部分の上縁部及び底縁部で、伸長は、横断方向において、5（いくつかの実施形態では、4、3、2、又は1）%までであってもよく、一方、上縁部と底縁部との間では、伸長は、横断方向において、5より大きく、15（いくつかの実施形態では、14、13、12、11、又は10まで）%までであってもよい。他の実施形態では、伸長した不

織布シートの中央部分の上縁部及び底縁部で、伸長は、横断方向において、5（いくつかの実施形態では、4、3、2、又は1）%までであってもよく、一方、上縁部と底縁部との間では、伸長は、横断方向において、少なくとも70（いくつかの実施形態では、75、80、又は85まで）%までであってもよい。上縁部及び底縁部での減少した伸長は、例えば、使用者の顔に対する良好な密封を提供するのに有用であり得る。いくつかの実施形態では、伸長した弾性不織布シートの中央部分は、長手L方向において、10（いくつかの実施形態では、7.5、5、2.5、2、又は1まで）%未満の伸長を有する。いくつかの実施形態では、第1の側方端部分及び第2の側方端部分は、それぞれ、少なくとも15（いくつかの実施形態では、少なくとも20、25、30、40、50、75、90、又は100）%、及び長手L方向又は横断T方向のうちの少なくとも一方向において、約500（いくつかの実施形態では、350、300、250、又は200）%までの伸長を有する。中央部分又は中央レーンにおける伸長の量は、例えば、材料の選択（例えば、弾性不織布ウェブ、フィルタリングウェブ、及び第2のウェブについて）、フィルタリングウェブ部分及び中央部分の取り付けの程度、並びに中央部分をフィルタリングウェブ部分に取り付ける時のプリーツの大きさ及び数により制御され得る。中央部分の伸長を制限することにより、より良い濾過特性を可能にする。例えば、多孔質の弾性材料（例えば、弾性不織布ウェブ）が伸張される時、汚染物質が通過できる大きな空間が材料に開かれる場合がある。一方で、中央部分におけるより大きな伸長は、顔へのより良い適合を可能にすることができる。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0075

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0075】

図示される実施形態では、連続ウェブは、機械方向に連続して位置する複数のフェイスマスク100を含み、連続ウェブは、第1の長手方向縁部76と、第2の長手方向縁部78とを有する。フェイスマスクの第1の側方端部分116は、連続積層ウェブの第1の長手方向縁部76に延在し、第2の側方端部分118は、連続積層ウェブの第2の長手方向縁部78に延在する。いくつかの実施形態では、第1の側方端部分116及び第2の側方端部分118は、複数のフェイスマスクが分配のために巻かれる又は折り畳まれる前に、中央部分上に折り畳まれ得る。フィルタリングウェブ130（及び任意に第2のウェブ）は、ロールの中央レーン74に沿って固着される。いくつかの実施形態では、フィルタリングウェブ130は、中央レーンの少なくとも一部分が少なくとも一方向において第1及び第2の側方端部分116及び118よりも伸びが小さくなるように、連続ウェブ72の中央レーン74に固着される。いくつかの実施形態では、連続ウェブの中央レーン74は、機械方向に5（いくつかの実施形態では、4、3、2、又は1まで）%までの伸長を有する。機械方向に減少した伸長は、例えば、複数のフェイスマスクのロールからの簡便な分配に有用であり得る。フェイスマスクの連続ロールからの分離は、フェイスマスクが分配方向に伸縮性であるとき、使用者には困難である。連続ウェブの中央レーン74の伸長は、例えば、上述のように、材料の選択、フィルタリングウェブの固着の程度、及びフィルタリングウェブのプリーツの数によって制御され得る。いくつかの実施形態では、中央部分におけるフェイスマスク100の上縁部及び底縁部で、伸長は、横断方向において、5（いくつかの実施形態では、4、3、2、又は1）%までであり得、一方、上縁部と底縁部との間では、伸長は、横断方向において、5より大きく、15（いくつかの実施形態では、14、13、12、11、又は10まで）%までであり得る。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0085

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0085】

第8の実施形態では、本開示は第1～第7の実施形態のいずれか1つに従う方法を提供し、フィルタリングウェブは、中央部分が少なくとも一方向において第1及び第2の側方端部分よりも伸びが小さくなるように、弾性不織布ウェブの中央レーンに固着される。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0095

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0095】

第18の実施形態では、本開示は、

細長い形状と、中央部分と、それぞれ対向して中央部分の側面に位置する第1及び第2の側方端部分と、第1の側方端部分に第1の開口部と、第2の側方端部分に第2の開口部と、を有する弾性不織布シートと、

弾性不織布シートの中央部分に固着されるフィルタリングウェブ部分であって、中央部分が少なくとも一方向において第1及び第2の側方端部分よりも伸びが小さくなるように、中央部分に固着される、フィルタリングウェブ部分と、を備える、フェイスマスクを提供する。